

人生100年、まだまだこれから



神戸新聞
2025.1.21

若いもんには負けてられない。
そんな気概が、選手たちの生き生きとした表情から伝わってきた。

三田市を拠点に活動するシニア軟式野球チーム「三田プリンス」が昨季、県の古希リーグ戦で初優勝を果たした。14日午前の新年初練習取材すると、最低気温マイナス4.0度と三田らしい寒さの

想

中、無心で白球を追う姿があった。「年とともに走攻守が落ちてくる。気持ちは若いままだけど、どうしてもね」。遊撃手の松本明主将(71)はそう話す。練習で補っていく」と声は明るい。尽きない向上心が強豪たるゆえんだらう。記者は本社運動部で4年半、スポーツの現場を経験した。高校野球も多く取材し、プロ入りした選手も見してきた。一方、三田プリンスを取材して思ったことがある。昔のように体は動かない。それでも悲観はしない。高校球児と同様に、ただ野球が好きだから。年齢は関係ないのだ。



ゴロをさばいて送球する三田プリンスの選手＝三田谷公園グラウンド

仲間とのプレーが楽しい。勝ちにもこだわる。竹本武志投手(75)は「いろんな人を受け入れてくれる懐の深いチーム。ここで好きな野球ができて感謝しかない」。人生100年時代。まだまだこれからだ。
(橋本 薫)